



## まもなく2ヶ月が経過します

校長 妹尾 雅巳

新年度が始まり、まもなく2ヶ月が経過します。学校は、この短い期間の中で始業式、入学式、PTA総会、修学旅行、佐渡市体育大会と、実に多くの行事を無事に終えることができました。このような慌ただしい中ですが、ご家庭での子どもたちの様子はいかがでしょう。

1年生。

ほんの数日までは小学校六年生として、小学校を引っ張っていく存在だったのが、1年生として新しい環境下で、学校生活のリズムや学習の難易度等、様々な面で大きな変化があったことと思います。小学校のときとは違い、疲れた様子は見られないでしょうか。このような時期だからこそ、ご家庭で子どもたちの様子を今一度見取り、ときには子どもたちの声に耳を傾けていただきたいと思います。

2年生。

中学校生活の3分の1を終え、今年の9月下旬頃には折り返し地点を迎えます。前半の3分の1の中学校生活を子どもたちはどのように過ごし、ご家庭ではどのように移ったでしょうか。2年生は学校生活の環境に十分に慣れた今年だからこそ、新たにチャレンジしたいことや今まで怠っていたこと、克服したいことなどにチャレンジしてほしいと思います。2年生のこの時期は、精神的にも大きく成長するととても大切な時期なのです。

3年生。

各々の進路実現や部活動の大会、各種行事など、どれをとっても中学校生活最後の一年となります。そこで、3年生には今までを振り返ってみて、自己評価をしてみることをお勧めします。自分自身の中学校生活を自己採点してみてください。

「学習は○点、部活動は○点、学校生活○点、日常生活○点、合計で◆点」など、自分自身を評価してみてください。同様に、ご家庭でも子どもたちの評価をしてみてください。

その評価の差に残された中学校生活で、子どもたちも保護者も取り組み、改善していく過程があるのではないのでしょうか。

泣いても笑っても当校日数は228日。もうすでにそのうちの42日が過ぎています。失敗を恐れずに前向きにチャレンジし、一日一日を有意義に過ごしてほしいと願います。一人一人のチャレンジが、南佐渡中学校の11年目の「新たな一歩」の足跡となることを期待します。

学校は、これから第1考査や下越地区大会に向かっていきます。子どもたちにとっても慌ただしい日々が続きます。ご家庭と学校がともに連携し、子どもたちの成長を育んでいけるよう、引き続きご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。